



健康で豊かな国民生活を保健医療福祉情報システムが支えます

2020年度 業務報告会

部門システム委員会 活動報告

2021年2月5日
部門システム委員会
委員長 金子 正和

- 今年度の事業計画
- 部門システム委員会報告
 - ・教育事業対応（JAHIS事業・冊子）
 - ・部門システム類型化
- 専門委員会、WG報告
 - ・病棟業務支援システム専門委員会
 - ・物流システム専門委員会
- 来年度の事業計画

(1) 部門システムに係る課題の洗い出しと解決、標準化・患者安全施策活動の推進

- ①部門システムの連携を促進するための課題洗い出しと解決
- ②教育事業などを通じ部門システム関連の知識の普及活動
- ③患者安全に関する施策活動の推進

(2) 病棟看護業務の効率化、標準化及びその利用の推進

- ①MEDIS-DC看護実践用語標準マスタ普及促進
- ②病棟部門に関連したシステム連携の整理・標準化の模索

(3) 物流業務の効率化、標準化及びその利用の推進

- ①「HIS向け医療材料マスタの提供ガイド」の普及推進
- ②「HIS向け医療材料マスタの提供ガイド」の改版に向けた情報収集と方針策定
- ③医療用資材(医薬品・医療材料など)の院内物流のICT適用モデルの考察
- ④院内物流の実態調査・現場情報のヒヤリングなどを通じ新たな標準化課題の模索

(4) リハビリ業務の効率化、標準化及びその利用の推進

- ①リハビリ計画書連携の標準化推進
- ②リハビリシステム業務の標準化推進

各部門システムと電子カルテシステムとの連携を中心に、データやモノの連携・流れをまとめ教育事業の教材に反映し、JAHIS会員および外部受講者に情報提供した。

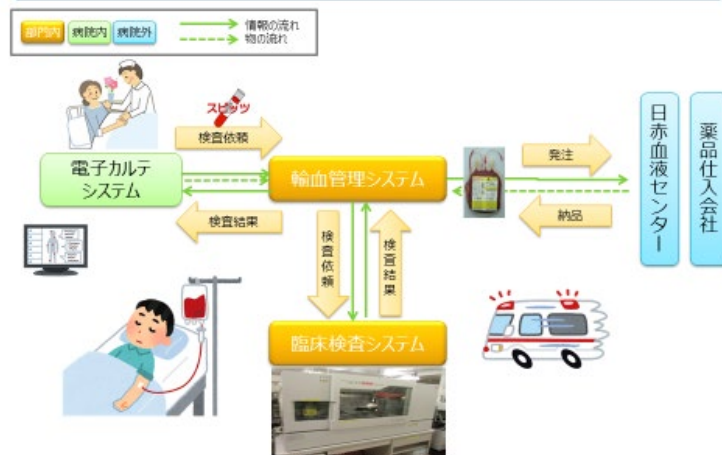


健康で豊かな国民生活を保健医療福祉情報システムが支えます

VIII. 部門システム

部門システムとは？ 代表的な部門システムの紹介

JAHIS 輸血部門システム 概要



© JAHIS 2017

一般社団法人 保健医療福祉情報システム工業会

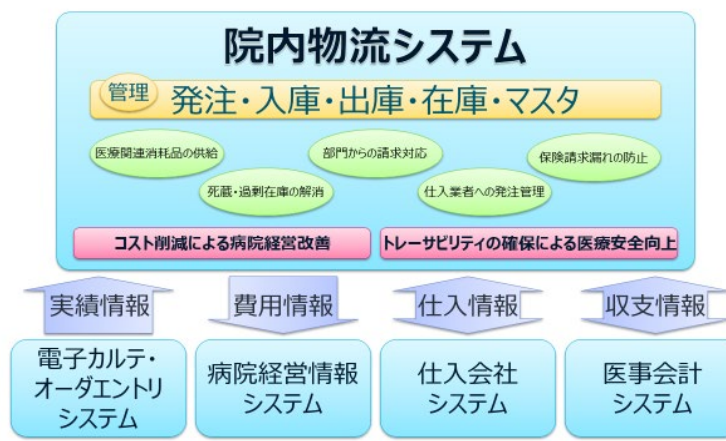
輸血部門システム 15



健康で豊かな国民生活を保健医療福祉情報システムが支えます

IX. 物流システム (院内物流システム)

JAHIS 1. 院内物流システムとは



© JAHIS 2019

一般社団法人 保健医療福祉情報システム工業会

院内物流システム (院内物流システム) 1

一言に部門システムといっても多種多様なものがあり、対象とする範囲があいまいであるため、部門システムについて類型化作業を継続中。

区分 (利用される 部門/診療科/業務など)		システム名称 (一般名称)	概要	通信先	備考
検査 部門	—	臨床検査情報システム	中央検査部門等の院内検体検査を集中対応する部署に導入する検体検査依頼受付、検査結果保持、提供、関連機能を持つシステム	電子カルテシステム	LIS
				生体情報システム	
				(各種検体検査装置)	
	生理	生理検査情報システム	生理機能検査部門で各種生理機能検査の依頼を受付、検査結果保持、提供、関連機能を持つシステム	電子カルテシステム	LIS及び生理機能検査結果対応
				内視鏡検査情報システム (各種生理機能検査装置)	
	内視鏡	内視鏡検査情報システム	生理機能検査部門で内視鏡検査の依頼を受付、検査結果保持、提供、関連機能を持つシステム	電子カルテシステム	LIS及び内視鏡検査結果対応
				生理検査情報システム (内視鏡画像システム)	
	病理	病理情報システム	病理部門で病理診断の依頼を受付、所見情報保持、提供、関連機能を持つシステム	電子カルテシステム	テレパソ含む
放射線 部門	—	放射線画像管理システム (PACS)	画像撮影装置 (モダリティ) から受信した画像データを保管、閲覧、管理する	X線、CT、MRI	PACS
	—	放射線情報システム (RIS)	放射線科の検査予約や、照射録管理、検査業務統計などの撮影情報を支援する。	PACS	RIS
				電子カルテシステム 医事会計システム	
	—	放射線治療計画システム (治療RIS)	放射線治療部門で治療オーダーを受付、治療計画を立て、治療装置に必要な情報を送る・管理するシステム	電子カルテシステム (治療装置)	

テーマ:病棟看護業務の効率化、関連システム連携の標準化模索

MEDIS-DC看護実践用語標準マスター普及促進

1)MEDIS-DC看護実践用語標準マスター普及推進作業班他

→今期はシステム側要求事項整理のためお休み

2)病棟部門に関連したシステム連携の整理・標準化の模索

①看護情報WGの立ち上げ(ベンダ9社12名)

②看護オーダー、看護記録等の移行や連携のためのコンパクトセットの取りまとめと提案(技術文書化)準備

参加会員:キヤノンメディカルシステムズ(株)、日本電気(株)、富士通(株)、
日本アイ・ビー・エム(株)、(株)ソフトウェア・サービス、(株)SBS情報システム、
亀田医療情報(株)、(株)エーシーエス、日本光電工業(株)

主体：一般社団法人 医療情報システム開発センター（MEDIS-DC）

2001年（平成13年度）12月 厚生労働省

「保健医療情報分野における情報化に向けてのグランドデザイン」公表

診療情報の「用語・コード」の標準マスター（厚生労働省より開発受託）

病名、医薬品、歯科病名、臨床検査、**看護用語**、手術・処置、
歯科手術処置、症状所見、画像検査、医療機器DB

看護用語の標準化検討分科会設置（委員長 水流聡子先生）

2005年 看護実践用語標準マスター 公開

看護行為テーブル、看護観察テーブル

<原則 年1回12月リリース>

2014年 普及推進WG設置
藤咲委員長 メンバーに参加

2012年 BOM ver.2.0 公開
観察用語が対応づけ

2016年3月 保健医療情報分野の標準規格（厚生労働省医政局長通知）

2016年6月 単位テーブル 公開

観察結果テーブル

同義語テーブル

2017年3月 看護実践用語標準マスター利活用セミナー開催（年1回）

看護領域の標準化委員会設置（委員長 美代賢吾先生）

メンテナンスWG（主査 水流聡子先生）

普及推進WG（主査 瀬戸僚馬先生）

※2018年4月1日現在

2018年
木戸委員 メンバーに参加

開発から普及そして利活用へ

MEDIS-DC資料より

看護情報WG ～データ移行・情報共有のための標準化を目指して～

JAHIS データ移行と情報共有の原則

■元システム

観察日時	項目	結果
...	...	...
2019/04/08 07:00	体重	67.7
2019/04/08 10:00	体温	36.6
2019/04/08 10:00	呼吸数	15
2019/04/08 10:00	脈拍数	70
2019/04/08 10:00	収縮期血圧	110
2019/04/08 10:00	拡張期血圧	75
2019/04/08 10:00	胆管ドレーン排液性状	胆汁様
2019/04/08 10:00	胆管ドレーン排液色調	淡黄色
2019/04/08 16:00	体温	36.5
2019/04/08 16:00	呼吸数	17
2019/04/08 16:00	脈拍数	65
2019/04/08 16:00	収縮期血圧	120
2019/04/08 16:00	拡張期血圧	77
2019/04/08 16:00	胆管ドレーン排液性状	胆汁様
2019/04/08 16:00	胆管ドレーン排液色調	淡黄色
...	...	...

情報担保

データ移行

■先システム

観察日時	項目	結果
...	...	...
2019/04/08 07:00	体重	67.7
2019/04/08 10:00	体温	36.6
2019/04/08 10:00	呼吸数	15
2019/04/08 10:00	脈拍数	70
2019/04/08 10:00	血圧(H)	110
2019/04/08 10:00	血圧(L)	75
2019/04/08 10:00	胆管ドレーン排液性状	胆汁様
2019/04/08 10:00	胆管ドレーン排液色調	淡黄色
2019/04/08 16:00	体温	36.5
2019/04/08 16:00	呼吸数	17
2019/04/08 16:00	脈拍数	65
2019/04/08 16:00	血圧(H)	120
2019/04/08 16:00	血圧(L)	77
2019/04/08 16:00	胆管ドレーン排液性状	胆汁様
2019/04/08 16:00	胆管ドレーン排液色調	淡黄色
...	...	...

■提供元



情報担保/情報解釈・加工

確認日時	確認項目	患者状態
2019/04/08 07:00	体重	67.7
2019/04/09 09:00	バイタルサイン	安定
2019/04/09 09:00	医療処置	胆管ドレーン
...	...	...

情報共有

■提供先

確認日時	確認項目	患者状態
2019/04/08 07:00	体重	67.7
2019/04/09 09:00	バイタルサイン	安定
2019/04/09 09:00	医療処置	胆管ドレーン
...	...	...

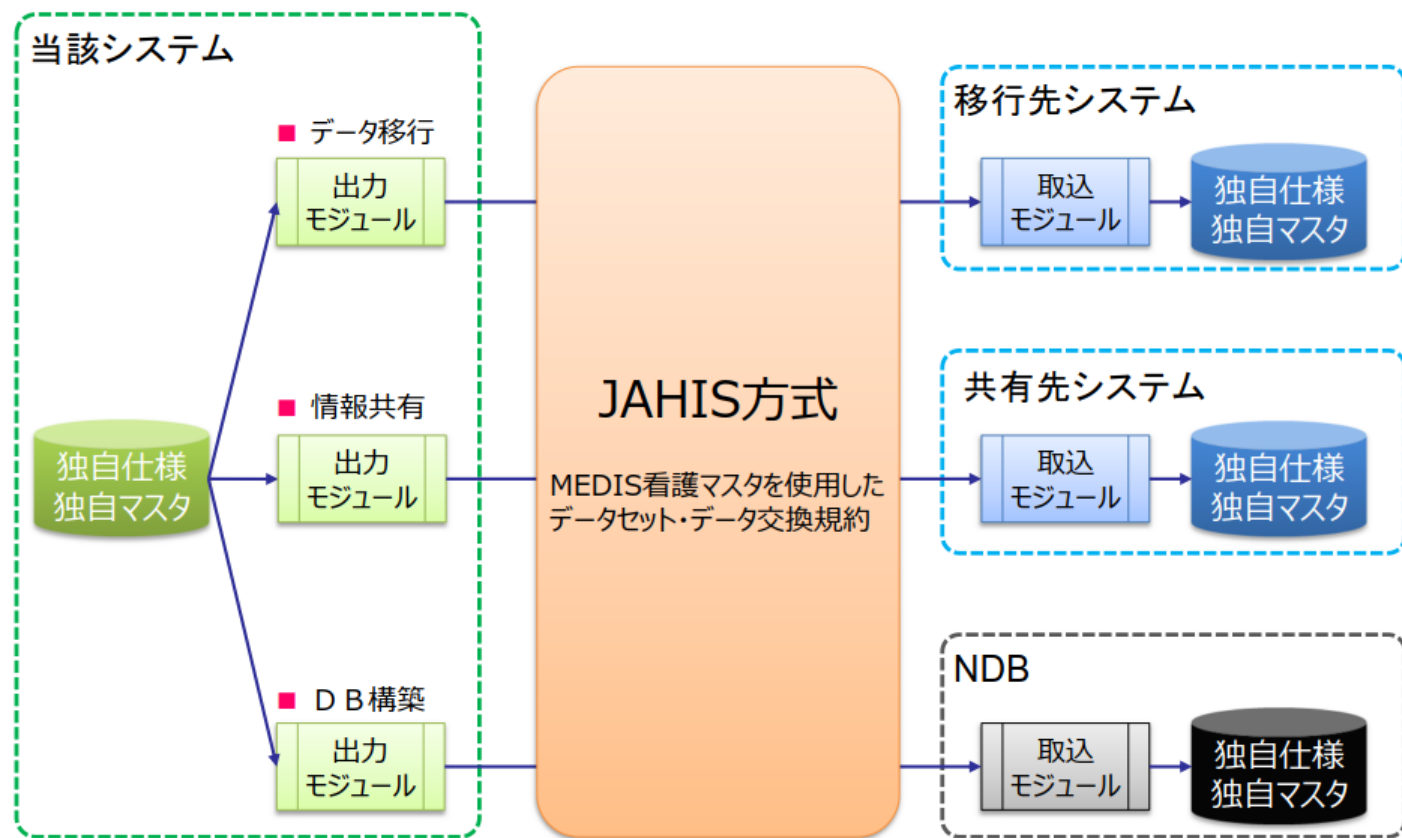
看護情報WG ～要件整理～

JAHIS データセット・データ交換規約の開発 ～要件～

- ・ 目的: 他システムとのデータ授受
 - － ベンダー間のデータ移行
 - － 施設間・システム間の情報共有
 - － NDBなどの統合データベース構築
- ・ 要件
 - － マシンリーダブル
 - － 臨床的エビデンスを確保する
 - － 現行システムへの影響を最小限とする
- ・ 範囲
 - － 指示情報(介入・ケア計画)
 - － ワークシート情報(介入・ケア予定)
 - － 結果情報(温度板・熱型表・経過表)

看護情報WG ～標準化対象と移行・共有の方式～

JAHIS データセット・データ交換規約の開発 ～方式～



共通語（言語）

単語

【標準マスター】

- 看護実践用語標準マスター
- 医薬品H O Tコードマスター
- 病名マスター
- 歯科病名マスター
- ...



文法

【データ交換規約】

- 看護データ交換規約（仮）
- 放射線データ交換規約
- 処方データ交換規約
- 臨床検査データ交換規約
- ...



ケア

(観察・行為の予定、実施)



看護記録

(経時、SOAP、FDAR など)

セット

(プロトコル)

患者状態

(安静度、看護度、ADL など)

〇〇

(安静度、…)

安静度指示 など、直接的にケアを活性させない
情報の取扱いを検討する必要がある

看護Data Base

(入院時間診 etc.)

看護計画

(看護診断、介入計画)

ターゲット

- ケア項目のデータ移行
(情報粒度を担保した受渡し)

指示がタスクに展開され、タスクに対する実施により結果が発生する
 (指示には根拠があるので、根拠も情報として扱うべき)・・・目的によって看護は変わるか？

根拠(≒目的)

- 業務ルーチンにより
- 医師の指示により
- パスにより
- 看護計画により
- その他
- 患者希望
- 看護師判断

発生

指示情報

指示

2019/06/10～
1日2回(10時、20時) バイタル測定

2019/06/10～06/12
1日1回(昼食後) 疼痛(腹部)

展開

ワークシート情報(タスク)

パスに合わせて
"タスク"とする

患者/日時	6/10	6/11
206-01 患者 A	10:00 バイタル測定	10:00 バイタル測定
	12:30 疼痛(腹部)	12:30 疼痛(腹部)
	20:00 バイタル測定	20:00 バイタル測定

実施①

実施情報

目的はセットの名称に
含まれていることもある

実施行動			実施結果	付随情報
2019/06/10	10:03	体温	36.7	
	10:03	脈拍数	70	
	10:03	呼吸数	16	
	10:03	収縮期血圧	130	
	10:03	拡張期血圧	95	
	12:48	疼痛(腹部)	R4003-01 : -	
	12:48	脈拍数	72	患者希望
	12:48	不整脈	R4001-01 : -	患者希望

実施③

実施②

指示に必要なデータ項目を決定するため、指示の特性分析を実施する

- ① 指示には有効期間が存在する
- ② 指示には頻度が存在する
- ③ 指示間には関係性があり、それは常に保たれる
- ④ 指示は他の業務進捗によって調整される
- ⑤ 指示から業務が発生する
- ⑥ 指示の進捗は展開した業務の進捗の総括である
- ⑦ 同種の指示は調整される
- ⑧ 指示はユニット化によって粒度を調整できる

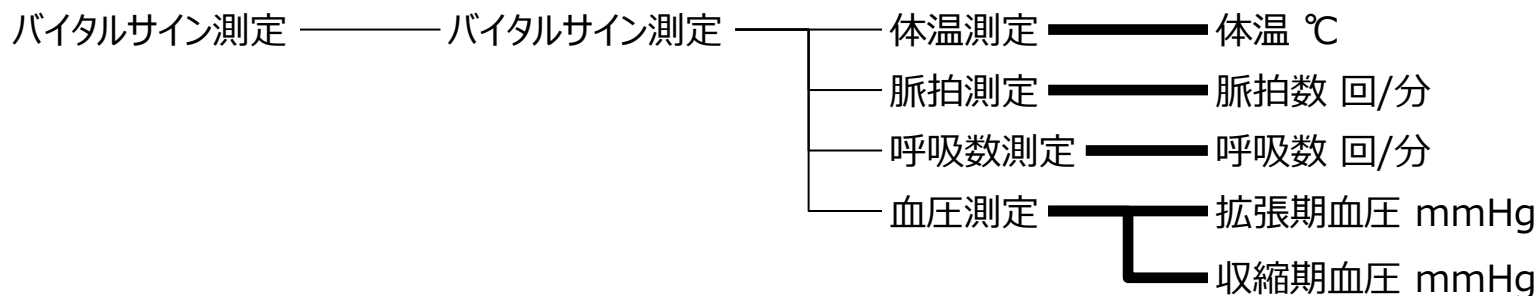
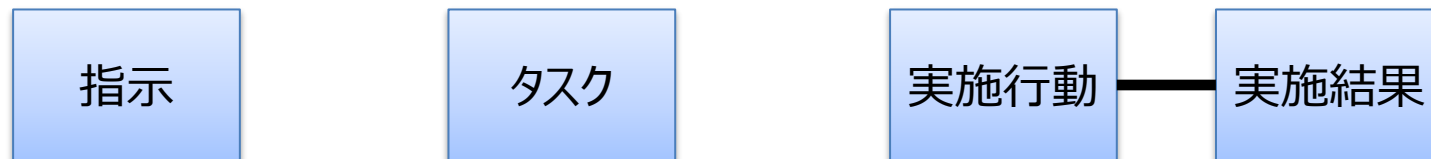
実施に必要なデータ項目を決定するため、実施の特性を分析する

- ① 実施した事実と実施によって得られた情報が存在する
- ② 1つのタスクで1つまたは複数の実施行動が発生する
- ③ 1つの実施行動で0～複数の実施結果が発生する
- ④ 複数（複数種）の実施行動が一連として発生する
- ⑤ 実施結果は多彩である
- ⑥ タスクなしでも実施は発生する

タスクに必要なデータ項目を決定するため、タスクの特性を分析する

- ① タスクは指示から発生し、1 指示に対し 0 ～複数回のタスクが発生する
- ② タスクは日時にある程度の自由度が含まれているものも存在する
- ③ 異なる指示でも、同種のタスクは（実施も）統合される場合がある
- ④ 1 タスクから、0 ～複数項目の実施行動が発生する
- ⑤ タスクはステイタスを持っている
- ⑥ タスクは他のタスクの進捗（結果を含む）によって調整される
- ⑦ タスクの日時は指示とは無関係に調整される場合がある

指示からタスク（予定）が発生、アクションを起こすことで実施（実施行動と実施結果）となる



体温測定 ——— 体温測定 ——— 体温測定 ——— 体温 °C

疼痛(腹部)観察 ——— 疼痛(腹部)観察 ——— 疼痛(腹部)観察 — 土

シーツ交換 ——— シーツ交換 ——— シーツ交換

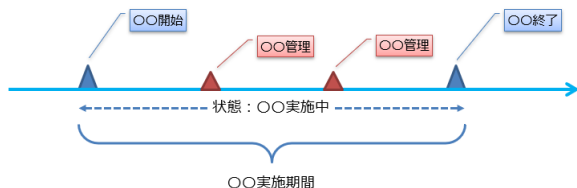
予定なし

病衣交換 — 特記事項なし
↳ 水濡れにより

血圧測定 — 拡張期血圧 mmHg
↳ 患者希望 — 収縮期血圧 mmHg

実施の特性分析④

複数（複数種）の実施行動が一連として発生する
（一定期間継続する医療行為があるため、開始と終了、継続期間中の管理が発生する）



- ・ 一対（開始-終了）の実施行動から期間・状態が判断できる
- ・ 開始～終了の期間内に一定間隔で0件以上の管理が発生する
- ・ 一連であることは指示からタスク（予定）を生成するタイミングで関連付ける

© JAHIS 2019

一般社団法人 保健医療福祉情報システム工業会

21

■ ユニットマスター

■ 変換マスター

コード	名称	実施項目
1001	血圧測定	9004（血圧H）、9005（血圧L）
5101	体幹装具着	9501（体幹装具着）
5102	体幹装具脱	9502（体幹装具脱）
...	...	...

ローカルコード(名称)	MEDISコード(名称)
9004（血圧H）	31001848（収縮期血圧）
9005（血圧L）	31001849（拡張期血圧）
9501（体幹装具着）	12001738（体幹装具装着）
9502（体幹装具脱）	12001739（体幹装具取り外し）
...	...

【指示概要】

9/10 10:00～20:00まで体幹装具を装着する。
その間、4時間ごとに血圧を測定する



■ 指示情報

No	項目	説明
1	施設ID	当該施設の識別情報
2	情報区分	1 : 指示、2 : タスク、3 : 実施
3	患者ID	当該施設における患者を一意に識別するID
4	指示管理ID	指示をユニークに管理するID
5	指示履歴番号	指示の変更修正履歴を管理する番号
6	最終状態フラグ	最後かどうか（1 : 最後、0 : 途中）
7	指示への操作	新規、修正、削除、更新（実施の操作）
8	指示ステータス	未開始、開始、完了、削除
9	根拠種別コード	01:業務ルーチン、02:医師の指示、03:パス…
10	根拠情報ID	根拠となる情報のキー。根拠種別によって異なる。
11	指示開始日時	指示の有効期間のStart
12	指示終了日時	指示の有効期間のEnd
13	指示タイプ	単独、繰返し、継続、継続+繰返し
14	指示項目	看護の行動を表す情報
14.01	区分	1:MEDIS、2:〇〇、…9:ローカル、0:フリー
14.02	Ver	
14.03	項目コード	
14.04	名称	ローカル名称
14.05	タスク種別	0 : 単独、1 : 開始、2 : 管理、3 : 終了
14.06	ユニットコード	同一ユニットであることを示すコード。
14.07	ユニット連番	ユニット内シーケンス。不要な場合は 1 固定。

No	項目	説明
15	頻度情報	頻度を表す情報
15.01	実施日指定	0 : 必要時、1 : 日、2 : 週、3 : 月、4 : 年、9 : 時間
15.02	間隔	
15.03	曜日	日月火水木金土 : 1111111
15.04	指定方法	1 : 曜日指定、2 : 日付指定
15.05	月数	実施日指定 = 4 : 年 の場合
15.06	週数	実施日指定 = 3 : 月、4 : 年 の場合
15.07	日付	実施日指定 = 3 : 月、4 : 年 の場合
15.08	日内回数	
15.09	日時区分	0 : 実時刻、1 : 曖昧時刻
15.10	日内時間	hhmm, hhmm, hhmm…
15.11	曖昧時間	,,,眠前, …
15.12	自由度区分	0 : 管理しない、1 : 管理する （仮）
15.13	前時間	オフセット
15.14	後時間	オフセット
16	指示コメント	コメント
17	指示者ID	指示者（指示をした者）の識別情報
18	指示者名	指示者（指示をした者）の情報
19	指示日時	指示した日時
20	指示登録者ID	指示を登録した操作者の識別情報
21	指示登録者名	指示を登録した操作者の情報
22	指示登録時刻	指示を登録したシステム時刻
23	指示登録端末	指示を登録した端末識別子
24	由来区分	自システム内で生成、データ移行により受取

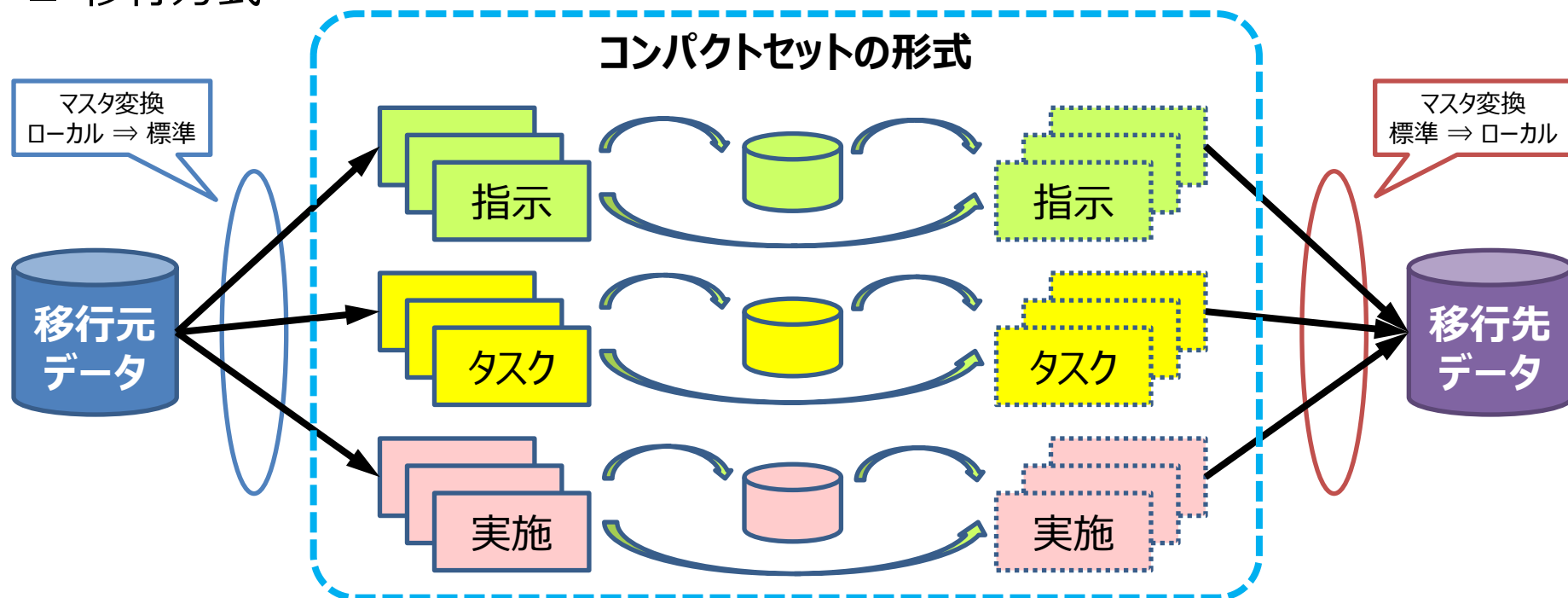
■ 実施情報

No	項目	説明
1	施設ID	当該施設の識別情報
2	情報区分	1 : 指示、2 : タスク、3 : 実施
3	患者ID	当該施設における患者を一意に識別するID
4	実施管理ID	実施をユニークに管理するID
5	タスク情報	発生元となるタスクへのリンク情報
6	指示情報	発生元となる指示へのリンク情報
7	実施履歴番号	実施の変更修正履歴を管理する番号
8	最終状態フラグ	最後かどうか（1 : 最後、0 : 途中）
9	実施への操作	実施、修正、中止、取消
10	実施ステイタス	未実施、実施済、実施中止、削除
11	実施根拠種別	01:業務ルーチン、02:医師の指示、03:パス…
12	実施根拠情報	根拠となる情報のキー。根拠種別によって異なる。
13	実施予定日時	実施予定日時
13.01	日時区分	0 : 実時刻、1 : 曖昧時刻
13.02	日時	YYYYMMDDhhmm
13.03	曖昧時間	眠前 など
14	実施種別	単独、開始、終了、継続（=タスク種別）
15	実施項目	実施行動を表す情報
15.01	実施項目区分	1:MEDIS、2:〇〇、…9:ローカル、0:フリー
15.02	実施項目Ver	
15.03	実施項目コード	
15.04	実施項目名称	ローカル名称

*

No	項目	説明
16	実施結果	実施により発生した（取得した）結果値
16.01	結果タイプ	0 : 実施のみ、1 : 数値、2 : 文字列、3 : コード、4:画像、5:音声、6:動画、…、9 : 外部参照、バイナリー
16.02	結果値	外部参照はリンクテキスト・ファイル名 バイナリーデータは別ファイルにExportし、リンク情報を格納
17	実施所要時間	実施行動に要した時間
18	単位情報	結果の単位に関する情報
19	結果取得状況	結果を取得した状況
19.01	取得対象	1 : 患者申請、2 : 家族・介護者…
19.02	取得状況	取得対象により異なる
20	関連情報	当該実施に関連づける医療記録類
20.01	関連情報区分	看護記録、カルテ、…
20.02	関連キー	リンク情報
21	実施コメント	コメント
22	実施者ID	実施者の識別情報
23	実施者名	実施者の情報
24	実施日時	実施した日時
25	実施登録者ID	実施を登録した操作者の識別情報
26	実施登録者名	実施を登録した操作者の情報
27	実施登録時刻	実施を登録したシステム時刻
28	実施登録端末	実施情報を更新した端末識別子
29	由来区分	自システム内で生成、データ移行により受取

■ 移行方式



- データ種毎（指示・タスク・実施）の移行（ローカル→標準に変換→ローカル取込）
- 基本は中間ファイルによる移行（将来は直接移行も視野に）
- 中間ファイルの中身はコンパクトセット、ファイル形式、文字コード、エンコード方法は検討の上決定
- 中間ファイルは大きすぎるため分割できるようにする。（期間指定・患者別,etc）
- ローカルマスタの移行は電子カルテ等で移行されていることを前提で本件対象外。（将来的には、セットやプロトコルの移行も検討する。ePath：OATモデルとの協調も検討？）

1. 各コンパクトセットのデータ形式、最大長他の決定

※外部ファイル(バイナリ等)はリンク情報を持つ

2. ファイル形式にまとめるための検討

※分割移行時等への配慮、種別単位、指定期間分

→一人分であれば施設連携のための共有に利用可能？

(目的次第: 代表値抽出、サマライズが課題)

3. コンパクトセットのファイル化(Encode)の検討

※エンコード方式、文字コード、ファイル命名則等の検討

※まずはText形式を前提にCSVで考える。

4. 移行漏れへの配慮

※ファイル名、移行(出力)情報サマリ



目 次	
1. はじめに	1
2. 基本データセット	2
3. 本規約における約束事項	2
3.1 メッセージ	2
3.2 文字コード	2
3.3 コード、名称、コーディングシステム	2
3.4 エクスポート時の留意事項	2
3.5 インポート時の留意事項	2
4. 指示情報	3
4.1 基本データセット定義	3
4.1.1 項目1	3
4.1.2 項目2	3
4.1.3 項目3	3
4.1.4 項目4	3
4.1.5 項目5	3
4.2 エクスポート時の留意事項	3
4.3 インポート時の留意事項	3
5. タスク情報	4
5.1 基本データセット定義	4
5.1.1 項目1	4
5.1.2 項目2	4
5.1.3 項目3	4
5.1.4 項目4	4
5.1.5 項目5	4
5.2 エクスポート時の留意事項	4
5.3 インポート時の留意事項	4
6. 実施情報	5
6.1 基本データセット定義	5
6.1.1 項目1	5
6.1.2 項目2	5
6.1.3 項目3	5
6.1.4 項目4	5
6.1.5 項目5	5
6.2 エクスポート時の留意事項	5
6.3 インポート時の留意事項	5
付録-1. 利用する公約マスタと利用範囲について	6
付録-2. 看護情報授受の際のファイル形式について	6
付録-3. 作成者名簿	7
© JAHIS 2021	
ii	

テーマ: 物流業務の効率化、標準化及びその利用の推進

1)「HIS向け医療材料マスタの提供ガイド」の改版

- ・普及促進に向けメリット・課題の検討整理
- ・国立国際医療研究センター様(NCGM)の活用事例の取込み
※NCGM訪問はコロナ渦のため見送り

2)「HIS向け医療材料EDI標準ガイド(仮)」の策定

- ・医療材料の病院～卸間の電子取引の標準化に向けた検討を8月より開始

3)標準化推進

- ・GS1コード・バーコードの普及・活用促進に取り組む
GS1 Japan(流通システム開発センター)部長・メンバが
オブザーバとして1月より参加

テーマ: 物流業務の効率化、標準化及びその利用の推進

1) 「HIS向け医療材料マスタの提供ガイド」の改版

- ・普及促進に向けメリット・課題の検討整理
- ・国立国際医療研究センター様(NCGM)の活用事例の取込み
※NCGM訪問はコロナ渦のため見送り

2) 「HIS向け医療材料EDI標準ガイド(仮)」の策定

- ・医療材料の病院～卸間の電子取引の標準化に向けた検討を8月より開始

3) 標準化推進

- ・GS1コード・バーコードの普及・活用促進に取り組む
GS1 Japan(流通システム開発センター)部長・メンバが
オブザーバとして1月より参加

2020年度における物流システム専門委員会活動の狙い

院内物流システム			電子カルテ・部門システム
対象	マスタ管理業務	発注・納品業務	診療業務（実施など）
医療薬品	標準コード（GS1・JAN）コードの普及・活用が進んでいる。	EDI発注の活用がかなり進んでいる。	標準コード（GS1・JAN）を用いた実施入力・安全確認の普及・活用は薬剤部・薬局の一部の部門システムで若干活用が始まっている。 →今後のターゲット
医療材料	標準コード（GS1・JAN）の普及・活用が進んでいない。 →「医療材料マスタ提供ガイド」の改版により推進検討	EDI発注の活用は殆ど行われていない。 （標準コード普及が前提） →「医療材料EDI標準ガイド」の新規策定により推進	標準コード（GS1・JAN）を用いた実施入力・安全確認の普及・活用は進んでいない。 →今後のターゲット

(1) 部門システムに係る課題の洗い出しと解決、標準化・患者安全施策活動の推進

- ・部門システムの連携を促進するための課題洗い出しと解決
- ・教育事業などを通じ部門システム関連の知識の普及活動
- ・患者安全に関する施策活動の推進

(2) 病棟看護業務の効率化、標準化及びその利用の推進

- ・看護情報のシステム間移行、施設間連携のための標準化
- ・病棟部門に関連したシステム連携の整理・標準化の模索

(3) 物流業務の効率化、標準化及びその利用の推進

- ・医療用資材(医薬品・医療材料など)の院内物流のICT適用モデルの考察
- ・院内物流の実態調査・現場情報のヒヤリングなどを通じ新たな標準化課題の模索
- ・「HIS向け医療材料マスタの提供ガイド」の改定
- ・「医療材料EDI標準化ガイド」の策定検討

(4) リハビリ業務の効率化、標準化及びその利用の推進

- ・リハビリ計画書連携の標準化推進
- ・リハビリシステム業務の標準化推進



健康で豊かな国民生活を保健医療福祉情報システムが支えます

ご清聴ありがとうございました